

平成25年度 赤穂市学校(園)評価 外部評価報告書

学校園名 | 赤穂市立 赤穂東中学校

1 本年度の学校(園)経営方針

【学校教育目標】 「気づき・考え・行動する」生徒の育成
 - いじめ・暴力のない笑顔あふれる学校 -

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 人権文化を基盤とした学校の文化・風土を創造する。
- (2) 高い志を持ち、学ぶ意欲にあふれる生徒を育成する。
- (3) 知・徳・体のバランスのよい育成に全力を注ぐ。

2 本年度の学校(園)重点目標

- (1) 日々の授業で、人間として当たり前のことが当たり前にできる集団を育て、人としての心を育てる。
- (2) 日々の授業で、夢と希望を持たせ、笑顔あふれる生徒を育てる。
- (3) 楽しく安心でき、充実した生活が送れる学校づくりを進める。
- (4) 東中を学びの場としてふさわしい環境にする。
- (5) 地域に信頼される学校づくりを進める。
- (6) 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。

総合的な学校園関係者評価

○アンケートの中に防災についての学校の取り組みに関する内容のものが必要だと思う。
 ○先生方はよく頑張ってくれている。評議員ももっと中学生に関わっていかねば。
 ○アンケートの中に校長先生の方針が出るのも大切だと思う。
 ○今後の方針で悩んでいるのがよく分かる。
 ○管理的な教育(枠にはめる教育)がきつい。個性を伸ばす教育はどうなっているのか。
 ○地域との関わりをもう少し大切にしたい。
 ○義務教育だから、あまり個性の強いばらつきが多い教育はよくないと思うが、一番人間形成で大切な年齢だけに、もう少しそれぞれの個々の生徒の個性を伸ばす指導がほしい。

学校園関係者評価

3 自己評価結果 (A~D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組) 評価指標および目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
1. 日々の授業で、人間として当たり前のことが当たり前にできる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 指標	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	B	○挨拶、服装、遅刻などの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、朝の校門指導を始め、学校生活のあらゆる場面で個々の生徒の取り巻く環境に応じた指導や対応を心がける。また、より一層家庭との連絡を密にして生徒の自主性を誘う指導を心がける。 ○清掃活動、ボランティア活動など生徒の活動を活性化するにあたっては、生徒会活動が種々のイベントの企画運営だけではなく、日々の生活の中に浸透している自分達自身の活動である事への理解と自覚を促し、達成感と共に生徒の意識が更に高揚するよう指導する。 ○生徒1人1人が、「自分は大切に思われている」と感じられるような関わりをすることで教師と生徒の良好な人間関係を積み上げていく。 ○ボランティア活動や地域行事への参加を促し、奉仕の精神や地域の方々の思いに触れる機会を多くすることで、地域を担う一人としての心を養う。
	項目 指標	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や地域のボランティア活動に積極的に参加した。		
	項目 指標	生徒の人権を大切にした教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。		
	項目 指標	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。 学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。		
2. 日々の授業で、夢と希望を持たせ、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 指標	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。 授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	B	○「生徒の学習意欲をそそる授業」「わかる授業」の創造的改善を周辺機器の利用も含め、継続的かつ組織的に推進する。 ○生徒に計画的に宿題を課したり、家庭での自主学習の方法を指導するなどして、家庭と連携しながら家庭での学習時間の増加を目指し、その習慣化を図る。 ○基礎学力の効率よい定着や向上を図るため、学習タイム活用法の研究を一層推進する。 ○校区の小学校と授業交流を継続しながら、学習内容についての連携を図る。
	項目 指標	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。		
	項目 指標	授業時数を十分確保できたか。 じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	○挨拶について、生徒は、「大きな声で挨拶ができていない」と思っているが、実際は半分ほどしか大きな声で挨拶ができていない。しかし、家庭内で家族同士が挨拶できていない状況で学校に任せるのも難しいと思う。 ○清掃についても同様のことが言える。 ○挨拶は声が出にくいのは実態であるが、よく見ると生徒の“目礼”がある。それは挨拶をしていると思うべきと考える。 ○清掃については、3、4年前に比べて学校は随分きれいになっている。
○	◎	○ゆとりの教育からの大きな変化を見ていると、今後、どのようになっていくのか不安が残る。 ○学校の温室みたいな教育で、社会の荒波に耐えていけるのか心配だ。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった ◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策	自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
	項目	指標						
2. 日々の授業で、夢と希望を持たせ、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		○個々の達成度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○1時間の授業に「思考」「判断」「表現」の場面を必ず取り入れる授業を創造をする。 ○行事の精選や日課の工夫を推進し、生み出された時間で発展的学習や反復学習に取り組む。			○このままの改善方法で良い。 ○何かテーマを与え、その事柄に向かって幅広い角度から「思考」「判断」「表現」を速やかに発送できる生徒指導を望みます。
	項目	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
	項目	思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業の創造ができたか。	教師自己評価					
3. 楽しく安心して充実した生活を送れる学校づくりを進める。	項目	教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒理解を深めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○生徒や家庭との信頼関係を、より一層強化するために、今までの取り組みを継続・強化する。そのために、教職員が指導法を研修し実践する。 ○生徒理解のための情報収集と共通理解をより充実させ、個々の生徒に対して組織的で効果的な対応ができるようにする。 ○計画的な学級活動の実践(朝の会や終わりの会を含む)により、生徒が達成感や充実感に満ちた毎日を送れるようにする。 ○社会の中で生き抜く実践力の一つとして、法・条例・規則・マナー・常識など、社会的通念について学習させ、規範意識の高揚をめざす。 ○不登校生徒には、担任だけでなく、カウンセラーや別室の利用、関係機関への相談等それぞれの生徒に応じた多方面からの対応を推進する。 ○部活動においては、技術面の指導だけにとどまらず、人間関係や礼儀・マナー等についてもきめ細かく指導するなど、成就感に繋がる活動となるようにする	◎	○	○生徒が安心して中学生を送るためには、生徒、先生、保護者の三者が信頼できる深い絆を持ち続けることだと思う。 ○規範意識をもっと高める方策が必要だと思う。
	項目	楽しく安心できる学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート					
	項目	学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学級)生活を送っているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
	項目	部活を通して生徒との良好な人間関係を築いたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
4. 東中を学びの場としてふさわしい環境にする。	項目	教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに掲示されるなど、環境が整備されているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○破損や汚れに気づく目を教師と生徒が共に育て、気がついたら放っておけない心につなげる気運を、学校全体で盛り上げる。 ○生徒会の委員会活動を更に活性化させ、具体的な活動方法を学習させることにより、校内の美化に対する関心を高め、その実践力を育成する。 ○清掃分担の適正化や清掃方法の近代化を進め、清掃活動を生徒の自己有用感に繋がる活動となることを目指す。 ○普段から生徒の心に気を配る接し方を心がけ、指導後の声かけや変化を見逃さない。 ○集団の力を意識できるような取り組みを通して、生徒会活動が自分達の活動であると実感させ、イベントやコンクールだけの協力にならない取り組みをする。	◎	◎	○生徒会中心のボランティア活動が取り組まれていることは大変素晴らしいことです。今後も是非、続けて下さい。 ○ひとつの型の中にはめ込むのではなく、個々の関心をもっと高める方策が必要だと思う。
	項目	掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境美化に努めているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
	項目	教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものになっているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
	項目	生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活動が行われているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
5. 地域に信頼される学校づくりを進める。	項目	学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に発信したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学校だよりとホームページの更新に関しては今年度の継続を目指す。 ○オープンスクールの実施については、広報に努めるなど、より多くの保護者や地域住民に参加してもらえよう工夫をする。 ○生徒や教職員が地域行事に積極的に参加する。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるためにさらに一層の職務への専念、服務規律への確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、補導委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。	○	○	○地域との連携で、各地区の清掃活動への中学生の参加が少ない。小学生までは参加する親と一緒に参加できるが、中学生は難しいと思う。 ○地域の防災訓練に中学生が参加できていない。中学生も地域の一員として参加を呼びかけて欲しい。 ○地域の代表を学校評議員にしているのだから、中学生とふれあえる場(地区行事への参加等)を、増やして欲しい。
	項目	オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人たちの生徒理解・学校理解を進めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					
	項目	P T A活動への協力など、P T Aと効果的な連携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった ◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策	自己評価	改善方策	課題と来年度具体的改善方法
	項目	指標				は適切か	は適切か	
5. 地域に信頼される学校づくりを進める。	項目	学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針を作成したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○日々の校内巡視や、月1回の安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○部活動に関して、地域の方に外部コーチとして部活指導にかかわっていただけるよう取り組んでいきたい。 ○校舎内外の環境整備や学習指導（教師の補助的作業）等にも地域の方のご協力が得られるような方策を模索したい。			○昔、先生は「尊敬される存在」であったが、今、「人間的なふれあい」に関して、先生の努力が認められていないように思う。 ○生徒の地域行事への積極的な参加手段を考え、参加を徹底させたい。
	指標	アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)						
	項目	育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全育成を推進したか。						
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目	全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○いじめのない「安心して安全な学校」を目指して、小・中一貫した人権教育、道徳教育の充実を図る。そのため、「命の大切さ」や「人の痛み」がわかる心を育てる取り組みを継続して推進する。 ○不登校生徒については、これまでの取り組みと同様に、不登校担当教員をコーディネーターとして学級担任、保護者、SC、SSW、心の教室相談員、赤穂市青少年育成センター（ふれあい教室）等関係機関と連携し、一人ひとりに対応した指導を行う。また、全欠の生徒に対しても、家庭との連絡を継続的に行い、生徒及び保護者への支援を続ける。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につけにくい生徒も多く、学校での指導だけでは対応できない難しい課題を抱えている。これについては保護者の指導も含めた、地域の関係諸団体や関係諸機関との協力体制を推進し、更なる協力を求める。 ○生徒と教師、生徒同士の関係改善や、家庭と教師との関係改善に向け、更なる取り組みが必要である。具体的には、学級担任を中心とした職員集団づくりに関する研修を推進する。	◎	◎	○今年度の道徳教育で、「あいさつの声が響く街 思い遣りの心があふれる街」をテーマにした取り組みは取り組みは良かった。 ○保護者の指導を含めた、地域の関係諸団体との協力体制をもっと強力に推進する方策を考える必要がある。
	指標	学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。						
	項目	道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか						
	項目	命の大切さが分かり、人の気持ちを大切に仲良くすることができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B		◎	◎	
	指標	問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。						
	項目	問題行動が減少した。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価					

自己評価における特記事項

○先生の自己評価と、保護者の評価にズレがある。その原因が何なのか調べるのが大切ではないかと思う。
○今日の難しい教育情勢のなかにおいて、教育活動の内容が豊かであり、生徒に理解させ生徒が自主的に盛り上がる指導ができたと思う。
○改善の方策について全体に感じるのですが、単に言葉の羅列にして実現が難しく感じるものが少なくない。あまり欲張るのではなく、1つが出来れば次の一つと実現の可能性をもっと大切に方策も考えるべきである。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○回収率が知りたい。(90%以上回収できているので、正確な結果であることは分かった。が、回収率を書いて欲しい。)
○アンケートの方法や内容について、特に内容については、正直に書ける内容であるか確認していく必要がある。